

# 京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 248 号

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

- 11月3日(火・祝) 憲法集会  
13:30開会 円山音楽堂
- 11月6日(金) 奨学金に関する電話相談  
(労福協) ☎0120-602-911  
10:00~20:00

四条烏丸で「最賃1500円に」と訴え



「コロナ禍だからこそ、賃金・労働条件の改善を」と秋季年末闘争をたたかっています。年末一時金などの要求をかかげた職場でのたたかい、「最低賃金引上げ、暮らせる賃金」を求める街頭宣伝、公務員賃金改善求めて人事委員会への要請行動、職場・地域で「賃上げ」の世論をつくる宣伝行動など、多様な取り組みを行い、官民一体、単産・地域一体で粘り強くたたかいていきましょう。

**最低賃金1500円を求めて**

今年の最低賃金改定は、多くの地方で1〜3円引上げられています。京都府最低賃金は時間額909円のまま据えおられました。

10月1日、最低賃金据え置きに抗議し、「最賃1500円の実現」「暮らせる賃金」を求めて、街頭宣伝を行いました。

休業させられたら、休業手当の計算方法では賃金の6割にも満たない金額となり、時給909円では到底暮らしていけないのです。労働者の経済的危機は、そのまま消費活動の悪化、地域経済の停滞につながります。「コロナ禍だからこそ、最低賃金引上げ、暮らせる賃金と雇用を確保することが必要」と市民・労働者に訴えました。

## 官民一体で秋季年末闘争を!

# コロナ禍だからこそ賃金・労働条件の改善が必要だ



京都市人事委員会へ申し入れ

生活実態をふまえた、月例給・一時金の改善を10月7日、人事院が国家公務員の一時金0.05月引下げの勧告を行いました。人事院勧告は、地方公務員や「人権擁護」の労働者に直接影響を与え、さらに、民間労働者へも大きな影響を与えます。コロナ禍の中、国民を守るために奮闘する国家公務員の一時金を削減する勧告に強く抗議することにも、政府が引下げを実施しないことを求めます。人事院勧告に先立つ10月5日、京都府・京都市の人事委員会に、勧告作業に対する申し入れを実施。コロナ禍で公務員が住民のいのちと暮らしを守るためにがんばっていることに報いる給与改善が必要だと指摘し、民間労働者の実態と公務員賃金が民間労働者と地域経済に大きな影響があることなどを訴え、生活実態を踏まえた給与改善のために、独自性をもって勧告作業を行うことを申し

入れました。府内いっせいで成功させよう

秋季年末闘争の柱となる取り組みとして、全労連の「コロナ禍、いのちと暮らしと雇用と地域を守る全国統一行動」が提起されています。京都総評では、提起に込めて11月5日に府内いっせいで行動を行います。

コロナ禍だからこそ、賃金・一時金の引上げを求

4年ぶり 経済キャラバン スタート

## 生業と地域経済、働く者のくらしを守ろう

地域の実情を聞き、取り組みを生かす

府内の商工会・商工会議所と懇談を行う「経済キャラバン」を4年ぶりに行っています。コロナ禍が地域の経済と雇用に深刻な打撃を与えている状況のもと、「生業と地域の経済を守っていくことが、働く者の雇用とくらしを守るためにも緊急の課題となっている」との認識で、地域の実情や中小企業・

業者の実態、地域経済の様子などを聞き、最低賃金引上げ、中小企業支援策の抜本改善、雇用とくらしと地域経済を守る取り組みに生かしていくことを目的としています。

京都総評は「コロナ禍のもとで、働く者のくらしも、中小企業と



京丹後市商工会と懇談



福知山商工会議所と懇談

地域経済も守るための提案(第一次案)をつくりました。「中小企業・小規模事業者が地域経済を支えている京都では、本格的に中小企業とくらしで働く労働者に対する直接的支援がなければ京都がつぶれるという危機感」のもと、「中小企業への強力な支援で、労働者もまともにくらし、地域の経済循環をつくる経済対策」などを提案しています。

懇談では、提案内容を説明し、意見を聞かせてもらっています。寄せられた意見も踏まえて、提案内容をバージョンアップし、最賃引上げと中小企業支援、循環型経済の実現にむけた府民の運動をすすめていくことにしています。

地域経済も守るための提案(第一次案)をつくりました。「中小企業・小規模事業者が地域経済を支えている京都では、本格的に中小企業とくらしで働く労働者に対する直接的支援がなければ京都がつぶれるという危機感」のもと、「中小企業への強力な支援で、労働者もまともにくらし、地域の経済循環をつくる経済対策」などを提案しています。

懇談では、提案内容を説明し、意見を聞かせてもらっています。寄せられた意見も踏まえて、提案内容をバージョンアップし、最賃引上げと中小企業支援、循環型経済の実現にむけた府民の運動をすすめていくことにしています。

### いのちとくらしと雇用と地域を守る全国統一行動・府内一斉宣伝

北 大 路	18:00~18:30	■北上地区労、私教連
烏丸御池	18:00~18:30	■京都市職労、郵政ユニオン、全受労
二条駅西口	18:00~18:30	■中京地区労
阪急西院	18:00~18:30	■医労連、自治労連、化学一般、西右京地区労
四条烏丸	18:00~18:30	■総評事務局、出版労連、JMITU通信、福保労、京都国公
烏丸丸太町	18:00~18:30	■府職労連、KBS労組、京都新聞労組、合同繊維
近鉄上烏羽	7:15~7:45	■JMITU、建交労、自立労連、南地区労
丹波橋西口	18:00~18:30	■伏見地区労
四条京阪	18:00~18:30	■京教組、年金者組合、東山地区労
出 町 柳	18:00~18:30	■左京地区労、国大教連
山 科 駅	18:00~18:30	■山科地区労
JR西 大 路	18:00~18:30	■京建労、全国一般、全印総連、国労、下京地区労

※京都市内以外は各地区協会で宣伝拠点を具体化します  
※配置にこだわらず、単組・支部・分会から参加しやすいところへ参加を

国鉄が分割民営化された事を覚えていますか？JRとって30数年。地域密着の建前のもと、民営的手法により経営されるJR体制は、長期債務処理、職員採用差別、鉄道事故と安全、路線廃止を含む利用者サービスなど問題は指摘されながらも、制度的には定着して今日に至っています。▼東日本、西日本、東海、九州は完全民営化しましたが、JR貨物、北海道、四国は完全民営化どころか鉄道路線の維持すら困難な状況です▼日本の鉄道は1872年10月の東京・新橋〜横浜間29kmの開業でその幕を開け、日本各地へと鉄路は伸びていきました。国鉄は、基幹的な交通手段として日本の近代化に大きな役割を果たしてきましたが、1950年代以降、自動車や航空機の普及で独占的地位を失い1964年以降財政は悪化の一途をたどる中で実施されたのが分割・民営化でした▼「公共性」は奪われ経営の目的も収益の獲得に変わり、その結果、鉄道の安全を脅かし、地方に荒廃をもたらしました。私たちは、今後も鉄道の安全・安定輸送の確保のため安全文化の構築を進めて行きます。(YI)

## TUBUYAKI

国鉄が分割民営化された事を覚えていますか？JRとって30数年。地域密着の建前のもと、民営的手法により経営されるJR体制は、長期債務処理、職員採用差別、鉄道事故と安全、路線廃止を含む利用者サービスなど問題は指摘されながらも、制度的には定着して今日に至っています。▼東日本、西日本、東海、九州は完全民営化しましたが、JR貨物、北海道、四国は完全民営化どころか鉄道路線の維持すら困難な状況です▼日本の鉄道は1872年10月の東京・新橋〜横浜間29kmの開業でその幕を開け、日本各地へと鉄路は伸びていきました。国鉄は、基幹的な交通手段として日本の近代化に大きな役割を果たしてきましたが、1950年代以降、自動車や航空機の普及で独占的地位を失い1964年以降財政は悪化の一途をたどる中で実施されたのが分割・民営化でした▼「公共性」は奪われ経営の目的も収益の獲得に変わり、その結果、鉄道の安全を脅かし、地方に荒廃をもたらしました。私たちは、今後も鉄道の安全・安定輸送の確保のため安全文化の構築を進めて行きます。(YI)

# 年金引き下げ 違憲訴訟 7人の証言は 裁判官の心を捉えた!

年金者組合京都府本部書記長 森脇芳男

なかつたら生活保護があると言おう。

生活保護を利用して原告が厳しい暮らしについて証言、お金の管理は社会福祉協議会に委託、手元には月6000円。散髪をする月は新聞を止める。仏さんの花も買えず今は生き地獄。健康で文化的な生活がしたいと訴えられた。

## 安心して暮らせる年金を

私は高齢者の年金が生活できる水準でないこと。とりわけ女性の年金が低く1人の収入では生活できず、夫婦2人の年金でやっと生活が維持できていること。2003年から若い人・現役労働者の年金が減額され続け、特に賞与が支給されないか、支給されても低額な非正規労働者や女性労働者が将来大きな影響を受けると証言。年金を下げるすべての仕組みを

廃止し、安心して暮らせる年金制度、最低保障年金制度の創設を訴えた。医療・介護が満足に受けられない

ない状況になっていると証言されました。現在の高齢者はどこでどんな生活をしたかという希望も言えない年金制度になっていることも訴えられた。

病院で医療ソーシャルワーカーとして働いておられる澤澤さんは、高齢者の医療・介護の負担が大きくなっていて、医療・介護が満足に受けられない

「今日の裁判良かった。勉強になった」「涙が出て困った」「母後から傍聴に来てよかった。組合員に年金裁判の意義が説明できる」と傍聴された



裁判所前の公園で報告集会

方々から次々に語られました。7人の証言は裁判官の心を捉えたことと確信しました。来年春には判決です。最後までがんばります。

## 9条京都のついでに2020

# コロナ禍で憲法が 輝きを増している!

国は本気で新型コロナ対策を

10月3日、龍谷大学響都ホールで憲法9条京都の会が主催する「9条京都のついでに2020」が

コロナ禍で参加人数を1000人までとして開催され、定員いっぱい1000人が参加しました。講演会で関西学院大学の富田教授は、「新型コロナウィルスをどうにか甘く見る傾向が強まってきている事が少し心配」「世界の人が死の恐怖に直面し、生命の尊さ、大切さをあらためて実感したことが一番のポイント」「経済も大事だが、まず人の生命が大事ではない



講演する富田教授

富田宏治教授(関西学院大)が講演

る中で「日本が徹底的にPCR検査をしないのは韓国と比べられたくないから。国や国家の面子のためだけにすることか?人の生命より大事なものがあるのか?」と訴え、「コロナ禍で、憲法がますます輝きを増していることに確信を持つ」と呼びかけました。全体会での報告で、11月3日の憲法集会を成功させようと訴えられました。

## 要求交流を大切に、地道な取り組みをすすめたい

綾部地労協



15団体が参加した要求交流会

綾部地労協では、10月8日に民主府市政の会と共催で要求交流会を行いました。2017年度にも要求交流会は行ってきましたが、2018年度は、コロナ禍において市民生活や労働者の雇用や働き方が深刻な中、15団体・地域・個人・市議等に

今年度の要求交流会では、コロナ禍において市民生活や労働者の雇用や働き方が深刻な中、15団体・地域・個人・市議等に

今年度の要求交流会では、コロナ禍において市民生活や労働者の雇用や働き方が深刻な中、15団体・地域・個人・市議等に

の22人が参加して有意義な会となりました。限られた時間のため、各団体・労組の要求や思いなどを文書にまとめてもらい発言してもらったので、焦点が絞られた中身になりました。どの分野においても共通して出されたのは、人手不足・待遇の劣悪さです。そのことに起因して市民生活や利用者へのサービスの低下、更なる労働環境の悪化の負のスパイラルに全体が陥っていることです。根本的な打開の方向は、国政や府政・市政の民主的な転換ですが、丁寧に各分野の要求を集め議論して、各団体や労組・個人が横の繋がり・連帯を広げ地道に取り組んでいくことがあらためて大切であると確認することができました。

9月24日、府市民総行動実行委員会は、「京都市持続可能な財政審議会」の中止を求める要請を行いました。参加者から、財政削減のみで市民生活を守る議論がない審議会を看過することはできない。今やるべきことはコロナ対策ではないかと抗議しました。

## 9月24日 参加団体の代表が要請



## 総評フラッシュ



## 五大エンボディ争議 高裁の要請により 和解期日決まる

不当解雇撤回と地位保全を求める裁判で、大阪高裁に控訴してたたかっているJMITU五大エンボディ争議の口頭弁論が開かれました。

「陳述書の内容で立証は十分」と判断され、証人尋問は採用されず、判決期日が来年1月14日に決まりましたが、裁判所からの要請により、和解協議をすることになりました。

## 2020年夏 京都総評青年部「最賃生活」体験記

時給909円で「健康で文化的な生活」は可能なのか。実体験をもって、彼らが訴えかけたものとは。



検索「京都総評」

Youtube京都総評チャンネルで配信中。動画みてね!

メッセージ動画 (制作協力: 京建労)

## わたしのオズメ 『アウトプット大全』

京都生協労働組合 執行委員長 池田 真人



私がこの本を紹介するのは、労組活動をすすめるうえで様々なヒントをもたらしたからです。精神科医である著者のビジョンは「精神医学、心理学をわかりやすくお伝えすること、うつ病や自殺を減らしたい。病気を予防したい」。目標は「100万部のベストセラ

ーを書く」「ユーチューブフォロワー10万人」だそうです。目標を前面に出すと「勝手に

にやれば」という感じで誰も協力してくれないが「ビジョン」を掲げて「夢」や「理想」を語ると人がついてくると紹介しています。私のビジョンは、「笑顔でイキイキと働

き続けられる職場にしたい」。目標は、「賃金アップ」と「労働条件改善」です。20春闘では、2万円の賃上げ要求を掲げてたたかいました。2万円の賃上げが実現したら「何をしたい」「何をやる」と問いかけてみました。全労連・黒澤事務局長の学習会で紹介されていた本です。

書名: アウトプット大全  
出版社: サンクチュアリ出版  
著者: 樺沢紫苑  
定価: 1,450円+税